しょうか。

をどのように振り返っているで

ると思います。そのときに専修 の意義をつよく感じるようにな

はだれにとっても人生の大きな

ご卒業おめでとう。大学卒業

なくその一翼を担うのは皆さん

転換点で新たな力強い

専修大学も第三の転換点、何年

か後に大きく飛躍するよう、こ

けることを願っています。

大学を想い出していただ

卒業の日を迎えて、学生生活

大学で学んだことは万能では

<った年月がそうでした</p>

あなたが学生生活をお

るでしょう。そのなかで、 /大きな変動の時代にな 、これからも間違いな

けていくことは人を成長させま あり得ませんが、これを土台に して、長い人生のなかで学び続 すると同時に、同じ時代 を生きる人びとに想像力 目分自身の人生を大切に

れからの数年が踏ん張りどこ

内野

沈み始めた日本を立て直し、日 の役割。同じく日本も転換点。 ろ。こちらは大学へ残る教職員

明日からの新しい世界で、大い

今ほど必要な時はない。

日本にとって若い力が

に羽ばたけ、若き鳳たちよ。

本を元気にさせる役割。間違い

す。そして、職場や社会における 態を研究する経験をもったこと 地位の変化や人間としての円熟 **介間として活躍されることを期** 卒業おめでとう! をおよぼすことのできる

大きなリスクを伴うエネル

です。環境破壊を伴う生産活動

そこへと巣立っていく社会は、

選択された道において名

八と言われる人になって

をもっているでしょうか。いや

十分満足したと思っている

自分の考えを相対化し、

客観的に評価できるよう

けるべきことの一つは、 事ですが、大学で身につ いでしょうか。知識も大

を振り返って、どのような思い

(あるいはもっと) の大学生活

するのが比較的容易なのではな ないから、自分を客観視し評価

卒業おめでとう。 この4年間

ください。また他の人が

ご卒業おめでとう。

皆さんが

ですから、

いま目標を失いかけているよう

世界は我々の欲求に影響 をしてください。現象的 する人物であってはな て、「豊かさ」のため 生きるように誘います 分の道を極める手助け その影響を媒介・増

る限界にきています。自分たち の生存よりも「豊かさ」の方を大 既に人間の生存を危うくす の実現に奉仕してきました -源の開発は、これまで「豊か 真に自由な社会の支柱とな りません 誘いから独立して生き 」を磨き、現象的世界 皆さんは各人が「創诰

ああすればよかった、こうすれ

人もいれば、あのときもう少し

り残したことのある人

も、ない人も、そういう

です。その力は十分身に

いているでしょう。や

大学院研究科長・法科大学院長の

になることであったはず

ばよかったと反省しきりの人も

力を十分に発揮して、世

いるかもしれません。

切にする生き方は誤りでした。

ってください。それこそが、

つながってはいても、同じでは

待しています。 しいと願っています。

過去の自分は、現在の自分と

分を大切にする生き方です。

心間にとって大切なのは

生きていくことになります。お さん、皆さんはこれから社会人 **そらく多くの障害や困難が皆さ** として世の荒波にもまれながら 卒業おめでとう。卒業生の皆 っとも勇敢に戦う「兵士」です。 青春は、その戦いの中でも 知識を、そしてなんとい 部で、さまざまな生きた すから、自信をもって障 く得ているはずです。で 加えて、皆さんは経営学 っても素晴らしい友を多

> 就職先の決定が遅くなった人た **職活動にも大きな影響を与えて**

成果を今の日本が抱える とと思います。この学習 重要であるかを学んだこ にしていくことがいかに

諸問題の解決に生かして

最も印象に残ることは東日本大

みんなの能力を束ねて大きな力

さん、おめでとうございます。

学位論文を完成させ、

謾災でしょう。 あなたたちの就

そして、それと戦っては何度も 挫折し、傷つくことでしょう。 んを待ち受けているでしょう。 でも大丈夫です。皆さんは今 春を強くたくましく一生持ち続 か、専修スピリッツをも そのためにも、どう ってほしいのです。

ちも少なくありませんでした。

ねて大きな力にしていく

リーダーの役割です。今

は、メンバーの能力を束

特に強調したいこと

青や困難に立ち向かって

青春の真っ只中にいま

解決の仕方を教えてきました。

あなたたちが成長すること

後の日本を支える人間

ロジェクトでは、メンバー各

あなたたちに、人に優しい問題

ネットワーク情報学部では、

がいるかもしれません。 おけば良かったと思う人 を踏み出して下さい。 後悔は後ろ向き。そう思 大学でもっと勉強して

課程で21人、博士後期課程1-います。今回の修了者は、修士

年齢層でも50歳代が1

いに財産となるでし

力もこれからの人生で大 ですが、その過程での努 ーとなって結実したわけ

一歩を踏み出したにすぎませ

は、修士の段階でどれだ す。博士課程に進む者

け勉強してきたかが問わ

された皆さん、おめでとうござ

論文あるいはリサーチ・ペーパ

たことと思います。ただし、こ

7

は、学部卒と比較されま

これまでの研鑚が実っ 売修了する諸君、おめ

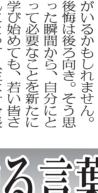
ぐ気づくでしょう。就職する者

環境とはずいぶん違うことにす

-ルではありません。次

大学院での勉学の成果は修士

経済学研究科をめでたく修了



んにとって人生は十分長 贈

同時に、大学院時代に

経営学研究科長

廣石

です。今まで積み上げて

解決策はいずれも共通

新たな世界へ自

発揮することです。専修 きた研究を基に、実力を

大学大学院はそれだけの

忠司

れます。

学問研究に取り組み、先 への膨大な知的蓄積の

または博士の学位を取得された 与することができました。修士 のひとつだと考えています。 成です。これも、本研究科が平 成12年度以降進めている「社会 △、40歳代が4人、30歳代が9 今年度、法学研究科では10人 に開かれた大学院教育」の成果 八、20歳代が8人で、多彩な構 修士、3人に博士の学位を授 達が経験したことのない、 します。 の人的および物的被害が発生し 皆さんのさらなる精進を期待 たことがあったと思いま ました。皆さんは、果た ていいのか、自問自答し して論文に取り組んでい さにも思い至ったのでは からの人生における謙虚 端に触れたことは、これ

うございます。

修了生、各人がそれぞれの目

て入学され、日々努力

だこと、経験したこと、

専修大学大学院で学ん

位取得された皆さん、おめでと

努力はまだまだ今後、続いてい

きます。

しかし、皆さんの目標達成の

大学院の課程を修了され、学

んでいくことになります。

それぞれ新たな道に進 に出る者、博士課程に進 譲程の場合は、これか

新たな世界では、これまでの

のステップに向かってください。

せたはずです。自信をもって次

実力を諸君に身に着けさ

皆さんに対し、衷心よりお祝い

皆さんが学位論文を完成させ す。しかし、皆さんがそ 必ずや、今回の大震災か れぞれの論文において法 決しようとすることは、 的・政治的な問題点を解

らの復旧・復興を促進す

日ここに

に学位を取得されました

目標への重要な第一歩

して昨年の東日本大震

を

これからは、自分が研究

動に生かしてください。

商学研究科長

和勇

れること、いろいろある 反省すべきこと、褒めら

と思いますが、そうした

すべての経験を今後の活

大災害にもめげず、今

をしるしたことであり、大きな

の解決に邁進されることを切に

願っています。

会的に問題となっている諸事象

を通して、いままさに社

したこと、体験したこと

うあります。

す。ことに、昨年3月には東日 るためには、並々ならぬご苦労 あったものと拝察いたしま を期待しています 今後も皆さんのさらなる精進 る力になるものと確信し

士・博士の学位を取得された皆 大震災が発生し、これまで私 入学院の課程を修了され、修 ようと提出期限まで努力を重ね にことと思います。この経

士)を取得され、7期目の修了

解するのはこれからの皆さんの 世界は奥が深く、その深淵を理

法科大学院での学位(法務博



れたことでしょう。学位論文

ただ一定の水準を満たせば

限界に挑戦し、その成果 の日でもあります。己の

Jでしょう。

り、研究の成果を最大限に発揮 よいというものではありませ ん。皆さんはその作成にあた い。れからも前進し続けてくださ を学位取得という結果に

ん、実社会に出ていく人 ける人にとってはもちろ ると同時に、新たな門出 修了しためでたい日であ 験は、今後研究生活を続 今日は大学院の課程を の2年ないし3年間、

にとっても貴重な財

石村

むてお祝いを申し上げ 法科大学院長 修

生になられた皆さんに、スタッ

努力次第です。皆さんは

一学んだ日々が思い出さ 努力で法律の深淵を理解 る気持ちを忘れないで下 ぎず、その応用力はプロ せん。しかも解決すべき けていかなければなりま として働きながら身につ 法律の基礎を学んだに過 が現れてきます。努力す 法問題は日々新しいもの

て実践できることを目標にして あり、学んだことを専門家とし 学院は専門職大学院で しかし、まだ法律の しています。 て下さい。皆さまの活躍を期待 心」をもって社会の中で活躍し 法律家として「正しい